

<学校名>上尾市立原市南小学校

<所在地>上尾市原市 3990

<電話>048-722-2100

<本事例の特徴>

日本が国際社会の一員として、主体性をもって積極的にその役割を果たし、信頼されるためには、日本及び諸外国の伝統や文化等について深い理解をもつことが重要であるとされる。そこで、学校教育における国際理解教育の必要性を踏まえ、本校では本年度、月に一度の英語朝会を行っている。ここでは、その取組について紹介する。

<具体的な取組や成果>

年間計画を立てる上で、まずは「日本や諸外国の伝統や文化等についての認識を深める」という英語朝会の目標を立てた。その目標達成に向けて、内容は季節や伝統行事に関わるものとした。また、第1学年から第6学年の発達段階に大きな違いがあることを考慮して活動内で使用する英語を厳選し、話を進める上でそれらを交えていくかたちで内容を構成した。本年度はコロナ禍ということもあり、一堂に会して朝会を行うことは難しい状況であったため、外国語活動・外国語部の教員やALTを中心に事前に動画撮影を行い、各クラスでそれを視聴することとした。以下、これまでに実施した事例について紹介する。

(1) 6月英語朝会「歯」～歯と口の健康週間と関連させて～

6月は、歯と口の健康週間が設定されていたこともあり、英語朝会でも、「歯」をテーマに活動を計画した。普段あまり意識しない動物の歯の本数や、歯のある動物とない動物についてのクイズを簡単な英語を用いて出題したことにより、興味・関心をもって活動に参加する子供たちの姿を見ることができた。

【担当教員の感想】

動物の歯の数のクイズなど、参加型だったので子供たちも楽しく活動できていました。また、英語で何と言っているかわからなくても、子供たちはニュアンスで感じ取っていたのでよかったです。



(2) 7月英語朝会「七夕」～日本と世界の七夕について～

現在日本で親しまれている七夕は中国から伝わった逸話に由来していると言われていたが、現在の中国での七夕の過ごし方は日本とは異なっている。また、日系移民が多く暮らすブラジルのサンパウロでも日本の文化や風習が受け継がれており、冬の風物詩として「スターフェスティバル」が開催されている。この月は日本と世界の七夕を紹介するとともに、先生方の願い事をクイズにしたり、七夕の英語の歌を聴かせたりしながら活動を進めた。

【担当教員の感想】

写真を見たり歌を歌ったりして楽しみながら、子供たちは七夕の起源や世界の七夕祭りへの理解を深めていました。途中で先生方の七夕の願い事クイズを入れることで、低学年でも最後まで関心をもってお話を聞くことができました。

【担当教員の感想】動画の撮影は大変なこともあるが、子供の反応を見るとやってよかったと感じる。外国語に親しむということの導入の部分だと考えると、行う意義はある。



### (3) 8、9月英語朝会「お月見」～日本と世界のお月見について～

令和3年9月21日は中秋の名月で、8年ぶりに満月と同じ日付となった。日本では昔から月を愛でることを大切にする風習があるため、この機会に改めてこうした自国の文化に目を向けるとともに、外国の文化との類似点や相違点に気付かせたいという思いから、「お月見」をテーマとした活動を実施した。



#### 【担当教員の感想】

世界ではどのような風習でお月見を行っているのかを英語でお話したことで、子供たちは、英語の学習と世界でのお月見の様子の両方を知ることができたと思います。

### (4) 10月英語朝会「ハロウィン」～世界のハロウィンの風習について～

10月には世界のハロウィンを題材に True or False クイズを作り、出題した。5年生の子供たちから挙がった感想を一部紹介する。

- ・ 国によってハロウィンの時に食べるものやすることが違って面白かった。
- ・ 日本のハロウィンを見た外国の人も、今日の私みたいにびっくりするのかなと思った。
- ・ ハロウィンは仮装するくらいにしか思っていなかったので、驚きました。
- ・ ハロウィンは外国から来たのでどの国もみんな同じことをしていると思ったけれど、国によって違ったので意外でした。
- ・ 同じ行事でも、色々な考え方があるんだなと思った。
- ・ 世界のハロウィンは日本のお盆みたいだなと思った。
- ・ 初めて知ったことだらけで楽しかった。



### (5) 11月英語朝会「英語絵本の読み聞かせ」～読書月間と関連させて～

この月には外国の絵本の読み聞かせ動画を撮影し、それを視聴するようにした。1年生から6年生の子供たちが楽しめる本を選書することは難しい面があったが、ここでは言語面ではなく話の内容で選書し、子供たちにわかりやすい英語に言い換えて読むことにした。動画撮影であることから、目の前の子供たちと対話しながら読み進めていくことはできないが、読み聞かせの中で発問を取り入れながら、子供たちが参加できるように内容の工夫を行った。

#### 【ALTの感想】

We chose this book which fits for this month season. And also, this is a pop-up book, so it attracts students. It was a great experience to work with other Japanese teachers. Thank you for this opportunity.



Nick Sharratt "What's in the Witch's Kitchen?"

### 〈成果と今後の展望〉

これまでの活動を通して、教員、児童ともに改めて知ることが多くあり、日本や世界の文化への興味・関心を高めることができたという感想が多く寄せられた。今後もまずはこうした「知る」という段階を大切に、そこを入口として各教科等を通じてさらに思考を深めることのできる活動を設定していくことができれば、深い学びにもつながっていくであろう。学校教育における国際理解教育について、さらに学校全体で学びを深めていきたい。